

がん対策推進条例「区民ワークショップ」検討結果

1 がん検診の受診率向上について

- ・ 1日1ヶ所で、複数の検診が受けられる検診体制を作る。
- ・ 検診結果は、郵送により通知する。
- ・ 受診結果が怖くて受診しないという方が多い。不安を取り除くような啓発を行う。
(区報やホームページに受診体験談を載せるなど)
- ・ ホームドクター制度を作る。
- ・ 近所に、医師のいる相談所を設置する。

2 がんの予防、がんに関する正しい知識の普及、がんに関する教育の進め方について

- ・ 学校で子どもへの教育を徹底して行う(禁煙教育など)。
- ・ 食事や運動に関する啓発を駅やスーパーやコンビニに掲示する。
- ・ 患者と医師の垣根を低くする。
(ホームドクターを作って相談する。地元の医師が地域に門戸を開いて交流する。)
- ・ 特に男性の意識向上に力を入れる。

3 患者の方やその家族への支援について

- ・ 親が患者になった時の子どもへの支援(保育園・学校・家事)
- ・ 同病者の心の支援をおこなうため、ピアサポート等の情報提供を行う。
(病院・がんサロン・がんカフェ)
- ・ 「がん相談コーナー」があることを広くアピールする。
- ・ 財政的な支援。
- ・ 医療機関側の理解を啓発する。